



2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月25日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demaecan.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 英雄
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 ビジネスサポート本部長 (氏名) 宮下 淳 (TEL) 03-4500-9380
 四半期報告書提出予定日 2020年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績(2019年9月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	6,822	40.8	△1,608	—	△1,917	—	△1,877	—
2019年8月期第3四半期	4,847	21.0	23	△95.7	55	△90.5	△6	—

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 △1,994百万円(—%) 2019年8月期第3四半期 △0百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	△40.15	—
2019年8月期第3四半期	△0.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	39,217	30,709	78.3
2019年8月期	7,084	2,839	39.8

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 30,707百万円 2019年8月期 2,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	3.60	3.60
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大による事業活動への影響が見込まれ、現時点では業績予想の算定は困難であることから、未定とさせていただきます。業績の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年8月期3Q	85,486,500株	2019年8月期	44,390,500株
2020年8月期3Q	3,271,074株	2019年8月期	3,455,074株
2020年8月期3Q	46,771,404株	2019年8月期3Q	40,769,043株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年9月1日から2020年5月31日)につきまして、当社グループは、当社のメインビジネスである「出前館事業」の拡大に向けた取り組みを継続的に行ってまいりました。当社は中期ビジョンとして、「単なる食事のデリバリーサービスから、これからの日本に欠かせないライフインフラへの転換」を掲げており、新型コロナウイルス感染症拡大によって日常生活が脅かされる中、当社では本ビジョンを実現するため、下記のような取り組みを実施してまいりました。

- ・児童養護施設、子ども食堂、学童保育施設への食事の無償提供
- ・飲食店向け緊急雇用シェア、学生向け雇用支援
- ・各自治体と共同での、地域飲食店および地域住民への支援
- ・非接触デリバリーをはじめとする安心してデリバリーをご利用いただけるサービスの提供

また、外出自粛の影響を大きく受けた飲食店からの問い合わせが急増した結果、自社で出前を行っていないチェーン及び中小飲食店からの新規加盟が大幅に増加致しました。シェアリングデリバリーの拡大においては、各地域からのニーズに対応すべく、熊本県での初展開をはじめ、積極的にエリアの拡大を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,822,957千円(前年同期比40.8%増)と引き続き事業の拡大が続いているものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業損失は1,608,869千円(前年同期は23,966千円の営業利益)、経常損失は1,917,539千円(前年同期は55,194千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,877,768千円(前年同期は6,558千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
出前館サービス利用料	2,736,409	56.5	3,796,142	55.6	1,059,733	38.7
配達代行手数料	141,247	2.9	1,301,914	19.1	1,160,667	821.7
その他	989,313	20.4	976,787	14.3	△12,526	△1.3
小計	3,866,970	79.8	6,074,845	89.0	2,207,875	57.1
通信販売事業	980,317	20.2	748,112	11.0	△232,205	△23.7
合計	4,847,287	100.0	6,822,957	100.0	1,975,669	40.8

(注) 出前館事業における料金体系の変更を踏まえ、第3四半期連結会計期間より記載を変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるアクティブユーザー数は約370万人(前年同期比28%増)、加盟店舗数は約2.4万店(前年同期比25%増)、オーダー数は約2,605万件(前年同期比25%増)、シェアリングデリバリー®拠点数に関しましては336拠点(前年同期比109%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、出前館サービス利用料3,796,142千円、配達代行手数料1,301,914千円、その他976,787千円となり、セグメント売上高は6,074,845千円(前年同期比57.1%増)となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行っておりますが、外出自粛の影響を大きく受けた結果、需要が大きく落ち込み、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は748,112千円（前年同期比23.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で32,109,366千円増加し、37,664,986千円となりました。主な増減の要因は、現金及び預金が27,815,874千円、未収入金が4,246,295千円、受取手形及び売掛金が84,490千円増加した一方、その他が17,724千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で23,911千円増加し、1,552,513千円となりました。主な増減の要因は、ソフトウェアが186,011千円、差入保証金が20,430千円増加した一方、投資有価証券が192,820千円、有形固定資産が26,740千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で32,133,277千円増加し、39,217,499千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で4,281,157千円増加し、8,484,655千円となりました。主な増減の要因は、短期借入金金が800,000千円減少した一方、未払金が4,988,561千円、未払法人税等が89,453千円増加したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で17,587千円減少し、23,262千円となりました。主な増減の要因は、その他が17,587千円減少したことによるものです。

純資産残高は、前連結会計年度末比で27,869,708千円増加し、30,709,581千円となりました。主な増減の要因は、新株発行により資本金が15,000,040千円、資本剰余金が14,993,671千円増加したほか、親会社株主に帰属する四半期純損失を1,877,768千円、その他有価証券評価差額金の取崩し116,260千円、剰余金の配当147,367千円、自己株式の処分35,668千円、新株予約権の消却17,599千円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う全国的な外出自粛要請および緊急事態宣言発出の影響もあり、2020年4月以降、出前の需要が急拡大しております。

オーダー数の成長においては、第1四半期会計期間（2019年9月～11月）が前年同期比114%、第2四半期会計期間（2019年12月～2020年2月）が同110%であったのに対し、第3四半期会計期間（2020年3月～5月）は同150%と大幅に伸長しました。

現在、当社は2020年3月26日付公表「2020年8月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、LINEグループとの資本業務提携締結後の事業上のシナジー創出において協議・検討を行なっておりますが、5月中旬以降、緊急事態宣言は段階的に解除された一方、飲食業界では「Withコロナ」における今後の在り方に関する模索が続いており、現時点で飲食業界の動向が当社にどう影響するのかを見通すことは極めて困難であるため、当期の通期業績予想につきましては、引き続き未定とさせていただき、今後合理的な業績予想ができると判断したタイミングであらためて公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,185,728	30,001,602
受取手形及び売掛金	221,296	305,787
商品及び製品	61,687	54,371
未収入金	2,994,747	7,241,043
その他	149,826	132,101
貸倒引当金	△57,665	△69,919
流動資産合計	5,555,619	37,664,986
固定資産		
有形固定資産	162,039	135,299
無形固定資産		
ソフトウェア	741,617	927,628
ソフトウェア仮勘定	80,227	77,306
その他	138	138
無形固定資産合計	821,983	1,005,073
投資その他の資産		
投資有価証券	374,070	181,249
差入保証金	119,942	140,372
繰延税金資産	16,311	50,722
その他	35,898	41,012
貸倒引当金	△1,643	△1,216
投資その他の資産合計	544,579	412,141
固定資産合計	1,528,601	1,552,513
資産合計	7,084,221	39,217,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,931	17,465
短期借入金	800,000	—
1年内返済予定の長期借入金	3,634	628
未払金	3,069,776	8,058,338
未払法人税等	49,332	138,785
賞与引当金	50,032	50,375
その他	142,791	219,062
流動負債合計	4,203,497	8,484,655
固定負債		
その他	40,850	23,262
固定負債合計	40,850	23,262
負債合計	4,244,348	8,507,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,382	16,113,422
資本剰余金	651,365	15,645,037
利益剰余金	1,562,423	△462,712
自己株式	△669,763	△634,095
株主資本合計	2,657,407	30,661,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,725	45,464
その他の包括利益累計額合計	161,725	45,464
新株予約権	20,740	2,464
純資産合計	2,839,873	30,709,581
負債純資産合計	7,084,221	39,217,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	4,847,287	6,822,957
売上原価	1,878,032	2,067,198
売上総利益	2,969,254	4,755,759
販売費及び一般管理費	2,945,288	6,364,628
営業利益又は営業損失(△)	23,966	△1,608,869
営業外収益		
受取利息	53	11
受取配当金	1,709	1,953
貸倒引当金戻入額	5,005	—
持分法による投資利益	24,613	16,911
その他	2,082	2,301
営業外収益合計	33,463	21,177
営業外費用		
支払利息	1,521	1,751
為替差損	455	2
新株発行費	—	326,480
その他	257	1,612
営業外費用合計	2,235	329,847
経常利益又は経常損失(△)	55,194	△1,917,539
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	—	100,039
特別利益合計	3	100,039
特別損失		
固定資産除却損	8,924	95
関係会社株式売却損	8,676	—
特別損失合計	17,600	95
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	37,597	△1,817,596
法人税等	44,156	60,171
四半期純損失(△)	△6,558	△1,877,768
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,558	△1,877,768

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
四半期純損失(△)	△6,558	△1,877,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,135	△116,260
為替換算調整勘定	△1,043	—
その他の包括利益合計	6,091	△116,260
四半期包括利益	△467	△1,994,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△467	△1,994,028
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月24日付で、LINE株式会社及び未来Fund有限責任事業組合から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が15,000,040千円、資本準備金が15,000,040千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が16,113,422千円、資本剰余金が15,645,037千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,866,970	980,317	4,847,287	—	4,847,287
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	189,670	189,670	△189,670	—
計	3,866,970	1,169,988	5,036,958	△189,670	4,847,287
セグメント利益	30,563	170,128	200,692	△176,725	23,966
その他の項目					
減価償却費	164,527	12,198	176,725	—	176,725

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,725千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,074,845	748,112	6,822,957	—	6,822,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	252,513	252,575	△252,575	—
計	6,074,906	1,000,625	7,075,532	△252,575	6,822,957
セグメント利益又は損失(△)	△1,486,325	111,307	△1,375,018	△233,850	△1,608,869
その他の項目					
減価償却費	221,709	12,141	233,850	—	233,850

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△233,850千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。